



碧南ロータリークラブ週報

第2643回例会 平成25年6月5日(水)

- 会長 黒田 昌司
- 幹事 木村 徳雄
- 会場監督(SAA) 新美 雅浩

2012-2013 年度 国際ロータリーのテーマ

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール
 ■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp

■会報委員 菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴



●斉 唱

国歌「君が代」
 ロータリーソング「奉仕の理想」

●四つのテスト唱和

●本日のメニュー

和風弁当 大正館

●ビジター紹介

東海東京調査センター 投資調査部マーケットアナリスト 近藤 克洋様

会 長 挨 拶

昨日のサッカー見られた方は大勢いるかと思いますが、それに関係しましてオーストラリアのシドニー大学の研究についてお話ししたいと思います。

45歳以上の人、22万2,000人を対象にして調査した結果でございます。座っている時間と死亡率という研究です。

1日4時間未満しか座っていない人と、1日11時間以上座っている人では、後者の方が死亡率が40%以上高いそうです。8時間から11時間座っている人は、4時間未満の人と比べて死亡率が15%高いそうです。その理由について、アメリカコロンビア大学のハミルトン准教授が調査しました。座っていると代謝が低下し、脂肪燃焼酵素の働きが非常に悪くなるそうです。参考までに、体重70kgの人が立っている場合と座っている場合の消費キロカロリーは、座っている場合は70キロカロリー、立っている場合は140キロカロリーで倍になります。

標準体重を超えている方は立って仕事をして頂いて、飲みに行く時も立ち飲みで立って飲む、という生活が大事だと考えます。「Disuse atrophy」という、使わない物は使えなくなるという言葉がございますように気をつけて頂きたいと思います。脳も同じように使わないと退化していくので、認知症などにならないように使っていきたいと思います。



黒田昌司会長

幹 事 報 告



木村徳雄幹事

- ・ 今週は例会変更のお知らせはございません。
- ・ 2830地区のガバナー事務局より、ホームページアクセスについてのご注意がきております。不正なコンテンツが挿入されている可能性があるため、ホームページへのアクセスはしないように、との事です。ウイルス感染の危険性がございます。
- ・ 我々が主催しました I.M.の報告書が完成致しました。20枚だけ CD がございますので、ご興味がある方は貸し出します。教えて頂けたらと思います。
- ・ ガバナー月信の6月掲載のお知らせが届いております。パソコンから参照して頂く形となっておりますので、お願い致します。
- ・ 第2638回例会の社会貢献活動の記事が、2760地区のホームページ、または、Facebook に載っております。よろしくお願い致します。

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 65 名 (内出席免除者 10 名の内出席者 8 名)出席者 50 名	
出席対象者 50/62 名	出席率 80.65%
欠席者 15 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 木村 徳雄君 葵CCのメンバーになり33年間になりますが、月例会にも参加していましたが この度5月マンスリーカップ・Bクラスに何と優勝しました。シングルも夢じゃないなんてウソです。
- 山中 寛紀君 昨日のオーストラリア戦、何とか引き分けに持ち込みワールドカップ出場決定!!何はともあれザックジャパンに乾杯です。
- 榊原 健君 遂に決まりました。5大会連続W杯出場サムライブルー。本田が入るとやっぱり試合がしまります。私の予想は2:0で日本の勝ちでしたが、でもやっぱりうれしいです。応援よろしく。
- 杉浦 栄次君 6月2日に碧南市消防団ポンプ操法大会を無事に挙行することができました。多くの皆様に応援を頂き誠にありがとうございました。今後ご指導お願いします。
- 大竹 密貴君 長田昌昇さん、先日はどうもありがとうございました。
- 吉武 敏彦君 本日の卓話講師を紹介いたします。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

1日 長田 和徳君 11日 鈴木 泰博君 17日 鈴木 敏弘君
29日 亀山 裕一君 29日 岡本 彰人君

奥様誕生日

27日 岡本 彰人君の奥様 佳美様

結婚記念日

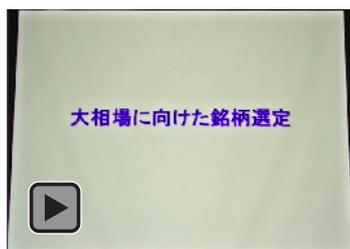
1日 杉浦 栄次君・ちづる様 24年 7日 新美 真司君・琢美様 27年

入会記念日

16日 林 俊行君

卓 話

「日本株市場の大転換！」 東海東京調査センター
投資調査部 マーケットアナリスト 近藤克洋様



近藤克洋様

半年前はお話させて頂いても、7、8人の参加者だったのですが、ここ最近では飽和状態でございます。証券業界は、アベノミクスと言われていますが、皆様の感覚はいかがでしょう。証券マンは株に引っ張られていて実態経済の感覚がないので、皆様の方が実態経済の感覚があるかと思えます。この相場が上がっていくのかは、皆様の肌感覚の方があてになるかもしれないです。

2週間前までは上がる一方だったのですが、5月23日に大暴落しましてここからどうなるのか、というのが気になると思います。4月4日に黒田総裁が異次元金融緩和を発表したのですが、現在では元に戻っていますので、異次元金融緩和がなかった事になっています。これより下がってしまうと異次元金融緩和が全く評価されなくなってしまいますので、私個人としてそれはないと思います。

異次元金融緩和の内容ですが、以下の通りです。

- 1、「資産買入等基金」を廃止し、マネタリーベースを年間約60～70兆円に相当するペースでの増加を目標にする
- 2、「資産買入等基金」と金融調節の「輪番オペ」（国債買入れ）を結合し、長期国債購入は、グロスで月7兆円強とする

- 3、長期国債の買い入れの年限を長期化（現状3年弱→7年程）する
- 4、「日銀券ルール」（日銀保有の国債残高を日銀券発行残高以下に抑える）を一時適用停止する
- 5、ETFの買い入れ額を「年間1兆円」増額、REITの買い入れ額を「年間300億円」増額する

マネタリーベースとは、皆様の財布に入っているお金と銀行の預金を合わせてマネタリーベースと言います。要は、世の中に出回っている全てのお金の事です。黒田総裁が出したのは、このマネタリーベースを増やしていきましょう、という事です。現在では150兆円ぐらいあるのを270兆円ぐらいまで引き上げましょう、という事です。日銀ができるのは、日銀の当座預金の量の調整です。この2年間で、現在60兆円程の当座預金を170兆円ぐらいまで持っていこうと考えています。

今までも量的金融緩和はやっておりました。金融機関は、企業や家計からの預金で政府から国債を買い、その国債を日銀が買い上げていたという流れです。黒田総裁の考えは、金融機関のお金の流れが中途半端なので、もっとお金を増やそうとしています。金融機関のお金が余る事で、海外へ投資したり、株や不動産への投資に繋がるのではないかという狙いがあります。

企業への貸し出しが伸びる事によって、本当に景気が良くなるという事になります。ただ個人的に、黒田総裁は、貸し出しはあまり伸びないと考えているのではないかと、思います。すぐに家庭への所得が増える事はないので、貸し出しが増えるとは考えづらいです。では何を狙っているのか。それは、円安政策を狙っているのだと思います。一国の首相や総理が、世界へ自国のお金の価値を下げるアピールをするのはおかしいです。本音ではどの国も自国の通貨の価値を下げ、輸出を伸ばしたいと思っていますが、あからさまには言えません。黒田総裁は通貨の番人ですから、円安にもっていくとは言えません。ただ、明らかに貸し出しは伸びていない、金利は上がっている、というので為替だけ見ていると言えます。このままだと確実に為替は円安に向かっていると思われれます。

皆様が投資もしない、雇用もしない、給料も増やさないとすると、マネーだけが先走る経済になります。そうではなくて、設備投資などをされるようになると、本当の景気回復になります。これは、現場の皆様の感覚にかかっております。残念ながら現在は、マネーだけが先走る相場になっているので溢れたマネーがマーケットで暴れ回っている、という事になります。

ヘッジファンドは今まではユーロ売りで儲けてきましたが、日本が貿易赤字国になってきたので、日本円売りが伸びてきています。一方アメリカは、今までは貿易赤字国でしたが回復してきています。なおかつ、エネルギーの輸入国であったアメリカからシェールガスが出てきて、輸出国に転じようとしています。今まではドルの支払いが多かったですが、円を買う理由もドルを売る理由もなくなってきました。

日経平均はここ数年、円高のせいでNYダウに遅れをとっていましたが、ようやく追いつきました。その矢先的大幅安がありました。夏頃から物の価格は上がってきますので、株などの資産を持っている人は儲かって、資産を持っていない人との格差が広がるのではと思います。

ではどういった銘柄を選べばいいのかですが、期待だけでどんどん上がっていく第一段階は

終わったのではないかと思います。銀行や不動産など、期待先行で上がった銘柄は元に戻りました。輸送機や電機などの企業は上がっていきます。今後もこの傾向は続くのではないかと思います。

会社側の為替レートですが、ほとんどが90円から100未満です。ほとんどの会社がアベノミクスを信じていません。今期の水準は、円高で想定していると思います。私はそうはならないと思います。景気が良くなるか悪くなるかは別にして、円をばらまいているので為替は円安になっていくと思います。私の方で輸出関連企業をまとめてみましたが、2桁増益企業が目白押しになっております。

日本全体としては貿易赤字なのですが、地域だけで見ればアメリカ向け貿易は健闘しています。輸出関連企業で北米向けの輸出企業はいいのではないかと思います。

個別で見えますと、東洋ゴムはいいのではないかと思います。国内では4位のタイヤメーカーですが、MUD というタイヤが人気だそうです。北米のトラック（ライトトラック）の割合が非常に増えており、MUD がライトトラック向けのタイヤでその恩恵が大きいのではないかと思います。業績が過去最高を更新するのであれば、株価も過去最高になるのではないかと思います。

こういった情報は、Web上の東海東京TVで流しておりますので、ご確認して頂けたらと思います。

最後になりますが、証券業界がすべき事についてお話申し上げたいと思います。外国の投資家が日本株を荒らしている、というイメージをお持ちかもしれませんが、ここ10年、日本株を買い越してくれているのは外国人です。唯一リーマンショック時だけ売り越しただけです。国内の法人や個人投資家が売り越しています。この現状から分かるのは、日本企業の実力を最も評価していないのは、日本人だという事になります。皆様に日本企業、日本株のすばらしさを提案してこなかった、我々証券企業の責任も大きいと思います。

今のタイミングで皆様にお勧めすべきだと考えておりますので、このタイミングで考えて頂きたいと思います。

次回例会案内

平成25年6月19日（水）最終例会「役員挨拶」